



国際射撃スポーツ連盟 国際射撃スポーツ協会

Federation Internationale de Tir Sportif 国際射撃スポーツ連盟

## 7. ライフルのルール

FOR

10mエアライフル個人 10mエア  
ライフル混合団体

50mライフル

300mライフル

300mスタンダードライフル



## 章

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 7.1一般             | 380 |
| 7.2安全性            | 380 |
| 7.3範囲とターゲットの基準    | 380 |
| 7.4ライフルと弾薬        | 380 |
| 7.5服装規定           | 389 |
| 7.6射撃イベントの手順と競技規則 | 399 |
| 7.7ライフル種目         | 401 |
| 7.8インデックス         | 404 |

ノート：

図や表に特定の情報が含まれている場合、これらは番号付き規則と同じ権限を持っています。



- 7.1 全般的
- 7.1.1 これらのルールは ISSF テクニカル ルールの一部であり、すべてのライフル種目に適用されます。
- 7.1.2 すべてのアスリート、チームリーダー、役員は、ISSF ルールに精通し、これらのルールが確実に施行されるようにしなければなりません。規則を遵守することは、各アスリートの責任です。
- 7.1.3 ある規則が右利きのアスリートに言及している場合、その規則の逆は左利きのアスリートに言及しています。
- 7.1.4 規則が男性または女性のイベントに特に適用されない限り、男性と女性の両方のイベントに一律に適用されなければなりません。
- 7.2 安全性
- 安全は最重要事項です
- ISSF 安全規則は規則 6.2 に記載されています。
- 7.3 範囲とターゲットの基準
- 目標と目標基準は、規則6.3 に記載されています。範囲およびその他の機能の要件は、規則 6.4 に記載されています。
- 7.4 ライフルと弾薬
- 7.4.1 すべてのライフルの基準
- 7.4.1.1 シングルローダーライフル。300m スタンダード ライフル イベントでは、国際ミリタリー スポーツ カウンシル (CISM) での使用が合法であるライフルを除き、各ショットの前に手動で装填する必要があるシングル ショット ライフルのみを使用できます。イベント前の機材管理。
- 7.4.1.2 イベントごとに 1 つのライフル。1 つのイベントのエリミネーション、予選、決勝ラウンドで使用できるライフルは 1 つだけです。アクション、バレル、ストックは交換できませんが、取り外し可能なバットストックは交換できます。  
アクション、バレル、ストックに取り付けられたアクセサリは交換可能です。使用不能になったライフルは、ジュリーが承認します。
- 7.4.1.3 動きまたは振動低減システム。ショットがリリースされる前に、ライフルの振動または動きを積極的に減少、減速、または最小化するデバイス、メカニズム、またはシステムは禁止されています。
- 7.4.1.4 ピistolグリップ。右手用のピistol グリップは、スリングや左腕にかからないように構成する必要があります。

## 7.4.1.5

バレルとエクステンション チューブには、いかなる方法でも穴を開けてはなりません。ライフルのコンペンセーターとマズルブレイクは禁止されています。エクステンション チューブは、バレルのマズル エンドから発射体が出るチューブのエンドまで、一定の内径を持たなければなりません。カートリッジまたはベレットのライフルリングおよびチャンバー以外の、バレルまたはチューブ内の構造またはデバイスは禁止されています。エクステンション チューブは、アスリートが競技に参加する際に、競技前または再チェックのために、機器管理部門によって検査されなければなりません。

## 7.4.1.6

観光スポット

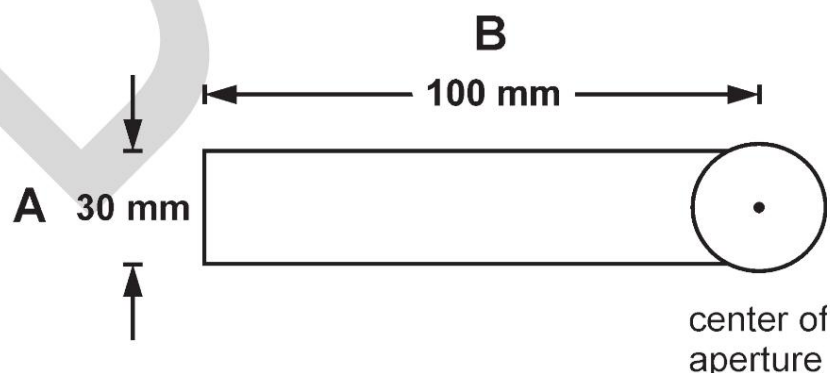
a) フロント サイトまたはリア サイトには、明るいレンズまたは着色レンズ、または偏光フィルターが付いている場合がありますが、サイトにはレンズのシステムがない場合があります。この規則の意図は、アスリートが見た光景を拡大するための望遠鏡として機能する「レンズのシステム」の使用を禁止することです。これに対する唯一の例外は、鮮明な視力画像を見るために光学補正を必要とするアスリートは、単一のレンズをリアサイトの外側に取り付けることは許可されていますが、内側に取り付けることは許可されていません。さらに、コンタクトレンズの着用または自然なレンズ交換は許可されます。これらは、アスリートが射撃を行っていないときに正常に見るために不可欠であり、視覚画像を意図的に拡大することを意図した外部アタッチメントではないためです。

b) 光強化システム、照準器、光学システム、または望遠鏡をライフルに取り付けることはできません。

c) 単一の補正レンズは、リアサイトのみに取り付けることができます。または、アスリートは矯正レンズまたは着色レンズを着用する場合があります。

d) 発射機構を作動させるようにプログラムされた照準装置は禁止されています。

e) ブラインダーはライフルまたはリアサイトに取り付けることができます。目隠しは、照準を合わせていない側のリアサイト開口部の中心から 30mm を超えず (A)、100mm を超えて延長してはなりません (B)。目隠しを照準側に使用してはなりません。左目で照準を合わせながら右肩から撮影する場合は、プリズムまたはミラー デバイスを使用できますが、拡大レンズ システムがない場合に限りです。右目使用時、右肩からの撮影時は使用しないでください。



リアサイトブラインダーの図

f) エアライフルと標準ライフルでは、フォアサイトトンネルは、リアサイトを通して見たときにプロファイルが円形でなければならず、水平基準として使用できる外部形状または追加物を持っていません。EDITION 2017 | Second Print V1.1 01/2018 著作権: ISSFを含む内部予測要素

水平および/または垂直参照が許可されます。

7.4.1.7 電子トリガーは、以下を提供することで許可されます。

- a) バッテリーとワイヤーが外部から見えないように、すべてのコンポーネントがライフルのアクションまたはストックにしっかりと取り付けられ、その中に含まれていること。
- b) 引き金は、右利きの場合は右手または左利きの場合は左手で操作します。  
左利きのアスリート;
- c) すべてのコンポーネントは、ライフルが検査のために提出されたときに含まれています。  
機器制御;と
- d) すべてのコンポーネントが取り付けられたライフルは、そのイベントの寸法と重量を管理する規則に準拠しています。

7.4.2 300m標準ライフルと10mエアライフルの規格

この規則に記載されている測定値は、ライフルの測定値にも示されています  
図、 7.4.4.1、およびライフル測定表、 7.4.4.2。

7.4.2.1 定義以下の定

義は、ライフル規則で言及されているライフルの部品に関する疑いを排除するために含まれています。

- a) **ストック** :バレルとアクション、サイト、ピストルグリップ、バットストックが取り付けられたライフルの基本フレーム。伝統的な木製銃床のライフルでは、銃床は伝統的にワンピースで、前端、チークピース、ピストルグリップ、バットストックが組み込まれていました。
- b) **バットストック**:ピストルグリップとバットプレート間のライフルの部分。  
これはストックの最後部の延長であり、バレルの中心線のいずれかの側にオフセットすることができます。バットストックの最下点は、銃身の中心線から 140mm 以下であってはならない。この制限は、ストックされた木製のライフルには適用されません。バットストックには、バットプレートを取り付けるための調整可能なエクステンションが付いている場合があります。この延長は下限140mmには含まれません。
- c) **バットプレート**:バットストックの可動端部で、通常、シュートポジションにあるアスリートの肩に支えられています。全幅は 30mm を超えてはなりません。バットプレートは、上下に動かしたり、バットストックの中心線の右または左にオフセットしたり、垂直および/または水平軸上で回転させたりすることができますが、外側の端のどの部分も、バットストックから 30 mm を超えてはみ出すことはできません。そのセンターライン。マルチパーツバットプレートを使用する場合、各パーツは右または左に回転させることができますが、すべての調整は全幅内に収まる必要があります。カーブの深さは、肩に接触する最も低い点まで測定して 20mm (7.4.4.2.G) を超えてはなりません。

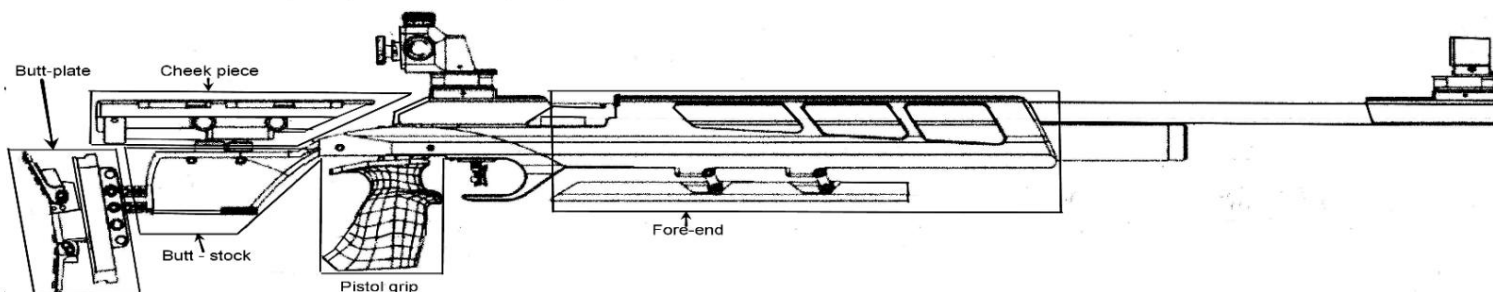
内部寸法が 153mm x 30mm のテンプレートを使用して、バットプレートの全幅を確認することができます。バットプレートは、テンプレートの内側に収まり、バットストックの見かけの中心線から 30mm を超える部分がなければ許容されます。



d) チークピース :アスリートが頭や頬を載せるライフルの部分。それは、木製ストックのライフルの不可欠な部分であるか、上下および横方向に調整可能なアタッチメントである可能性があります。横方向に動かす場合、外側の端はバットストックの中心線から 40mm を超えてはならない。チークピース表面に軟質素材を貼ることができます。

f) フォアエンド:アスリートの手が接触する、バレルより下のストックの前方部分。これには、深さを拡張するための調整可能または取り外し可能なセクションがある場合がありますが、それらは真っ直ぐな平面を提供する必要があります。最下点はボアの中心線より 140mm を超えてはならず、幅は 60mm を超えてはなりません。フォアエンド エクステンションはパーム レストではなく、取り外し可能であってもルール 7.6.1.3g に違反しません。グリップ力を高める素材を追加することはできません。また、解剖学的に形成されたものであってはなりません。

注: フォアエンド エクステンションはパーム レストではなく、たとえ取り外し可能であっても、規則 7.6.1.3g に反するものではありません。バレルの中心線に垂直な垂直面。最下点はバレルの中心線から 160mm を超えてはならない。グリップ力を高める素材を追加することはできません。また、解剖学的に形成されたものであってはなりません。 g) サムホール。パーム レスト、ヒールレスト、水準器の使用は禁止されています。ヒールレストは、ピストルグリップの側面にある突起または延長で、手が滑らないように設計されています。パームレストは、ルール 7.4.5.2 で定義されており、50m ライフルでのみ許可されています。



定義済み部品の図

#### 7.4.2.2 ウェイト

a) バレルの中心から半径 30mm 以内のバレル重量は、



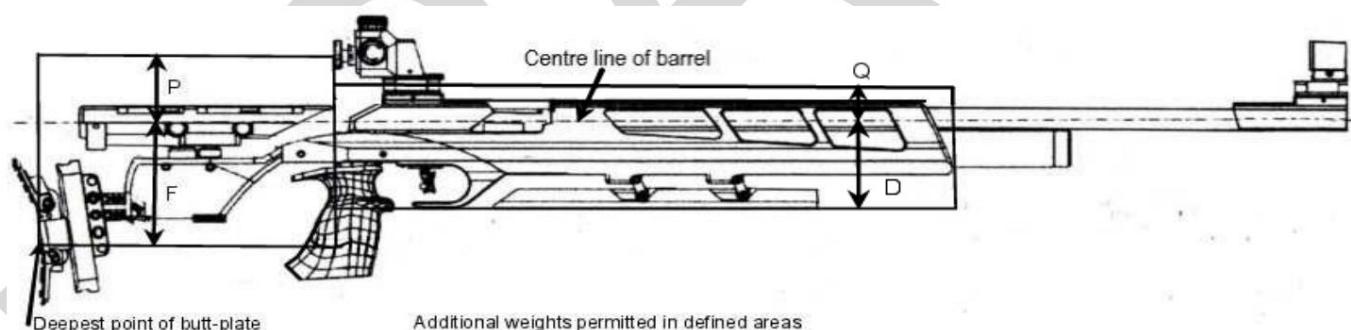
許可されました。バレルウェイトはバレルに沿って移動できます。

b) 銃床から突き出ている装置やおもりは、銃床の固定部分として取り付けなければならない (ネジまたはその他の固定手段)。それらは、銃床の中心線から横に 25mm を超えて突出してはならず、銃身の中心線から測定して 140mm を超えて下方に突出してはならない (規則 7.4.4.2 f)。

c) 銃身のおもりに加えて、おもりはライフルのどの部分に取り付けてもよいが、図に示されている範囲内になければならない。フォアエンドの下部にあるおもりは、バレルの中心線からのチークピースの最大延長距離よりも、バレルの中心線から水平方向に (横方向に) 伸びてはならない。寸法 J2)。バットストック領域のウェイトは、バットプレート deepest point 垂直な線より後方に延長することはできません。

d) おもりは、誤って外れたり、位置がずれたりしないように、半永久的な方法でライフルにしっかりと取り付けられていなければなりません。ウェイトを取り付けるためのあらゆる種類の粘着テープの使用は許可されていません。

選手は、選手とその装備の画像が放送または写真撮影される場合、オリンピック スポーツのプレゼンテーションと一致していなければならないことに注意してください。したがって、ライフルと付属品は、粘着テープ、ケーブル、ネクタイ、またはその他の一時的な手段。自動車の主要なホイール バランス ウェイトの大規模なクラスターは、見苦しく、不適切であり、隠蔽または回避する必要があります。図に示すように、許可された領域内でライフルにしっかりと取り付けられた、製造された金属製の重りは許容されます。



すべての寸法については、ライフルの寸法図 7.4.4.1 およびライフルの寸法表 7.4.4.2 を参照してください。



### 7.4.3 300m標準ライフルのみの規格

すべての 300m 標準ライフルは、ライフルに示されている仕様に準拠する必要があります。測定テーブルと次の制限があります。

- a) 最小トリガープルは 1500 グラムです。引き金の引きは、バレルを垂直位置にして測定する必要があります。トリガーウェイトコントロールチェックは、最後のシリーズの直後に実施する必要があります。ウェイトを持ち上げる試みは最大 3 回まで許可されます。ライフルがテストに失敗した選手は失格となります。
- b) すべてのポジションで同じライフルを変更せずに使用する必要があります。バットプレートとハンドストップの調整、フロントサイトインサートの交換、リアサイトまたはその接眼レンズの調整は認められる。競技中のチークピースの取り外しは、ジュリーの監督の下、バレルのクリーニングとボルトの取り外しのために許可されます。ただし、交換時に位置を変更してはなりません。
- c) エクステンション チューブを含む銃身の全長は、銃尾面から見かけのマズルまで測定して 762mm を超えてはならない。

### 7.4.4 10mエアライフルのみの規格

の仕様に適合するあらゆるタイプの圧縮空気またはガスライフル  
ライフル測定値表および次の追加制限:

- a) 機構の後端から見かけの銃口までのエアライフルシステムの全長は、850mm を超えてはならない。
- b) フロントサイトは見かけのマズルを超えて伸びてはならない。



7.4.4.1



フロントサイトは見かけのマズルを超えて伸びてはならない

01 (エアライフル) 850mm : 02

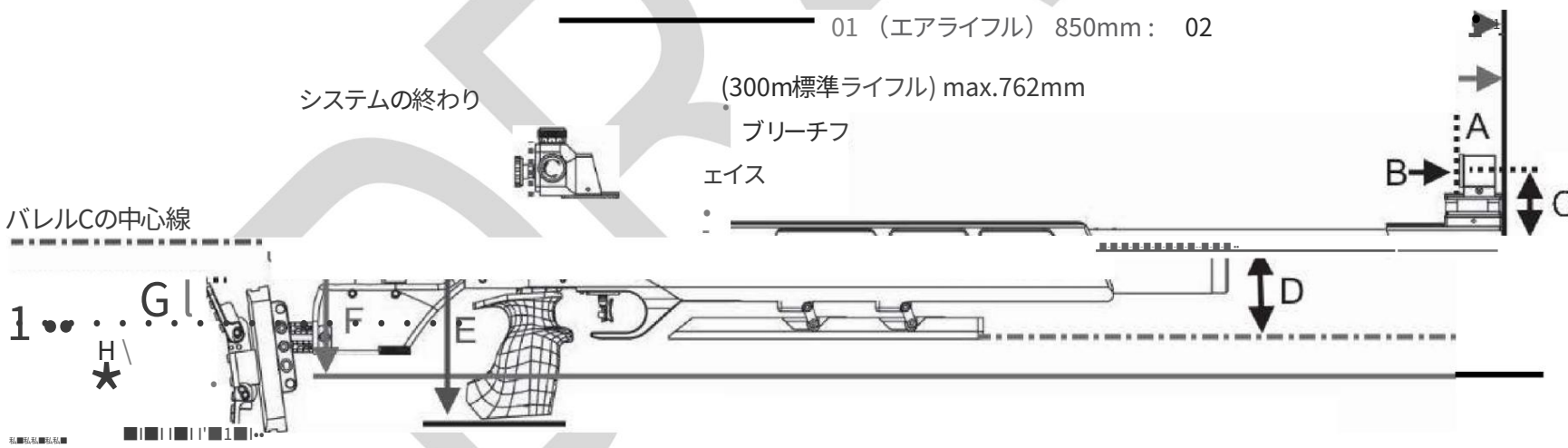
(300m標準ライフル) max.762mm

ブリーチフ

エイス

システムの終わり

バレルCの中心線



;;o :!!!  
S:  
UI  
子:  
3  
UI  
C-  
II)  
なに  
3  
UI





## 7.4.4.2ライフル測定表

C、D、E、F、J1、J2、K、Pの寸法は、穴の中心線からの寸法です。

| 鍵  | ライフル機能   | 300m<br>標準<br>ライフル | エアライフル     |
|----|--|--------------------|------------|
| あ  | フロントサイトトンネルの長さ   | 50mm               | 50mm       |
| B  | フロントサイトトンネルの直径   | 25mm               | 25mm       |
| ハ  | フロントサイトリングの中心またはポストの上部からボアの中心までの距離                                 | 80mm               | 80mm       |
| D  | フォアエンドの深さ  | 140mm              | 140mm      |
| と  | ピストルグリップの最下点   | 160mm              | 160mm      |
| ふ  | ピストルグリップとバットプレート間のバットストックの最低点(木製ストックライフルには適用されません)<br>追加ウェイトの最大深度。 | 140mm              | 140mm      |
| G  | バットプレートのカーブの深さ   | 20mm               | 20mm       |
| H  | バットプレートのかかとからつま先までの長さ  | 153mm              | 153mm      |
|    | 先端の最大厚み(幅)   | 60mm               | 60mm       |
| J1 | バレルの中心線を通る垂直面からチークピースまでの最大距離                                       | 40mm               | 40mm       |
| J2 | 銃身の中心線を通る垂直面からピストルグリップの任意の部分までの最大距離                                | 60mm               | 60mm       |
| K  | バットプレートの左端または右端からバットストックの中心まで測定したバットプレートのオフセット(7.4.2.1)            | 30mm               | 30mm       |
| L  | トリガーウェイト   | 1500グラム以上          | 無料         |
| M  | サイト付きウエイト(およびハンドストップ300m)  | 5.5kg              | 5.5kg      |
| N  | フロントサイトは、ライフルの見かけの銃口を超えて伸びてはならない                                   | 延長してはいけません         | 延長してはいけません |
| 01 | エアライフル:エアライフルシステムの全長   |                    | 850mm      |
| 02 | 標準ライフル:エクステンションを含む銃身の全長(銃口から銃尾まで)                                  | 762mm              |            |
| P  | サイトの後ろのウェイトの最大高さ。ボアの中心から測定 サイトの前のウェイトの最大高さ。ボアの                     | 60mm               | 60mm       |
| Q  | 中心から測定   | 30mm               | 30mm       |

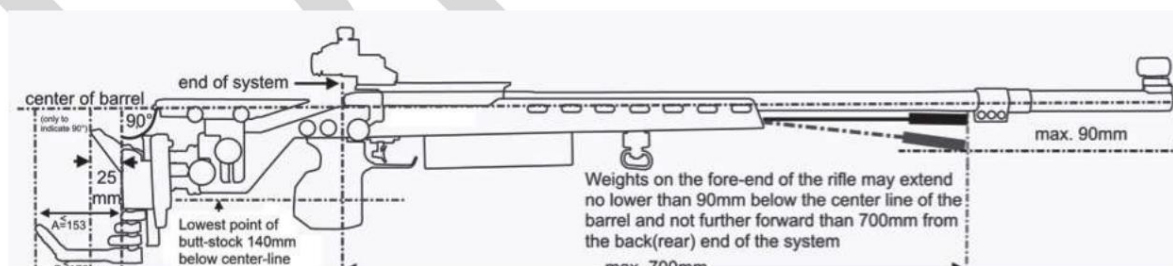


## 7.4.5

## 50mライフルの規格

リムファイア 5.6mm (.22" cal.) の長さのライフル カートリッジ用のチャンバーを備えたすべてのライフルが許可されています。これらの規則は、追加の照準器など、ライフルに取り付けることができるアタッチメントのすべての可能な組み合わせを禁止することはできませんが、「精神と意図この規則の (規則 6.8.13 による) は、50m ライフルは下の図のような一般的な外観を持つべきであるということです。一度にライフルに取り付ける。これは、これらのアイテムが競技のどの段階でも交換されることを妨げるものではありません。

- a) 男性用と女性用のライフルの重量は、すべての重量で 8.0kg を超えてはなりません。  
パームレストやハンドストップなどの付属品。
- b) スtockまたはバットストックの下部または下部にあるおもりは、バレルの中心線からのチークピースの最大延長距離よりも、バレルの中心線から水平方向 (横方向) にはみ出してはならない。たる;
- c) ウェイトは、ウェイトに垂直な線よりも後方に延長することはできません。  
バットプレートの最深部。
- d) バット スtockに取り付けられたウェイトはしっかりと取り付けられなければならない、バット スtockにテープで留めてはならない。
- e) ライフルの前端の重りは、銃身の中心線より下に 90mm 以上、システムの後端 (後端) から 700mm より前方に伸びてはならない。そのようなおもりは、射撃後または 3 姿勢種目でのポジション間に置かれたときに、ライフルを支えるために使用するバイポッドに変換できてはなりません。
- f) バットストックの最下点は、ボアの中心線から 140mm を超えて下に伸びてはならない。この制限は、Stockされた木製のライフルには適用されません





#### 7.4.5.1 フックバットプレート

以下の制限に適合するフックバットプレートを使用することができます。

バットプレートの底部から後方に突き出ているバットフックは、ライフルのボアの軸を通る線に垂直な線の後方から 153mm (A) を超えて伸びてはならず、それはライフルのボアの軸に接しています。通常は肩に寄りかかるバットプレートのくぼみの最も深い部分。

バットプレートの底部から突き出ているバットフックは、カーブまたはバンドの周りの外側の全長が 178mm を超えてはならない (B)。

バットプレートの上部突起は、この垂直線の後方まで 25mm を超えてはならない。

バットプレートの下部から前方または横方向に突き出た装置やおもりは禁止される。

#### 7.4.5.2 パーム レスト

パーム レストは、前方の手によるライフルのサポートを補助する、および/または整形外科的な形状 (指または親指の溝またはくぼみ) を備えた、前端の下にある取り外し可能なアタッチメントまたはエクステンションです。このようなアタッチメントは、銃身の中心線から 200mm を超えて伸びてはなりません。いかなる状況においても、エアライフルにパームレストを使用することはできません。50m ライフルの立位でのみ使用できます。

ボアに平行なまっすぐな側面を提供し、ボアから 120 mm よりも深くないフォア エンドエクステンションは、パーム レストではありません。

#### 7.4.5.3 ピストルグリップ

ピストルグリップのどの部分も、手の甲や手首に触れたり支えたりするような方法で延長したり、組み立てたりしてはなりません。

#### 7.4.5.4 300mライフルの規格

300m ライフルの規格は 50m ライフル (男女)と同じです。  
7.4.5および RIFLE SPECIFICATION TABLE (7.7.5) を参照してください。

300m ライフルには、最大幅 60mm の曇気縷帯が付いている場合があります。

#### 7.4.6 弾薬

| ライフル | 口径               | その他の仕様                                    |
|------|------------------|---|
| 50m  | 5.6mm<br>(.22")  | リムファイアロングライフル。鉛または同様の軟質素材でできた弾丸のみが許可されます。 |
| 10m  | 4.5mm<br>(.177") | 鉛またはその他の柔らかい素材で作られた、あらゆる形状の発射体が許可されます。    |

|            |   |
|------------|---|
| 300m 最大8mm | 選手や射撃場の人員に危険を及ぼすことなく発射できるあらゆる説明の弾薬。トレーサー、徹甲弾、焼夷弾の使用は禁止されています。 |
|------------|---|

DRAFT





## 7.5 服装規定

衣服および衣服のテストに関する一般的な基準については、一般技術規則を参照してください (規則 6.7)。

### 7.5.1 ライフルウェアの一般基準

7.5.1.1 すべてのシューティング ジャケット、シューティング トラウザーズ、シューティング グローブは、一般的に受け入れられている射撃条件下で、物理的特性を実質的に変化させない、つまり、硬く、厚く、または硬くしない柔軟な素材で作られていなければなりません。

すべての裏地、詰め物、および補強材は、同じ仕様を満たす必要があります。裏地または詰め物は、通常の仕立てポイント以外で、キルティング、クロスステッチ、接着、またはその他の方法で外側の衣類層に貼り付けはなりません。すべての裏地または詰め物は、衣類の一部として測定する必要があります。

7.5.1.2 ISSF チャンピオンシップのすべてのライフル種目で、各選手は 1 着のシューティング ジャケットと 1 組のシューティング パンツのみを使用することができる。すべてのライフル シューティング ジャケットとシューティング パンツには、ISSF Equipment Control によって発行され、ISSF データベースに登録された一意のシリアル番号が記載されたシールが必要です。

シールのないジャケットまたはズボンを着用している選手は、シールを添付して ISSF データベースに登録するために、機器管理に持参する必要があります。

1 選手につきジャケット 1 着、ズボン 1 着のみ登録できる。ISSF シールの付いたジャケットまたはズボンを 2 つ以上持っている選手は、将来の競技会でどのアイテムを使用するかを ISSF 機器管理に通知する必要があり、アイテムごとに 1 つのシールのみが残ります。ジャケットやズボン、またはシールのないもの (新品または交換済み) を交換した選手は、機器管理に連れて行ってシールを取得し、以前のシールを破棄する必要があります (6.7.6.2.e)。競技者が競技会後の検査のために選ばれた場合、検査は、その競技者に登録された印鑑番号が、その競技者が使用した衣類の印鑑番号であったことを確認しなければなりません。

7.5.1.3 通常のアスレチック トレーニング パンツまたは通常のアスレチック トレーニング シューズは、どの種目またはポジションでも着用できます。競技中にショーツを着用する場合、脚の素材の底は膝頭の中心から 15cm 以内でなければなりません。あらゆるタイプのサンダルは着用できません。

7.5.1.4 選手は、使用するすべての衣類がこれらの規則に準拠していることを確認する責任があります。装備管理セクションは、公式トレーニングの日からライフル競技の最終日まで選手の衣服の自発的な検査を行うために開かれている必要があります。選手は競技会の前に装備管理チェックのためにライフルの衣服を持参して、遵守していることを確認することをお勧めしますこれらの規則で。競技用のジャケットとズボンを準備する際、アスリートは、温度、湿度、またはその他の環境条件の変化によって発生する可能性のある測定の変動を考慮しなければなりません。

7.5.1.5 コンプライアンスを確保するために、エリミネーションおよび予選ラウンドの競技会の後に、すべてのライフル衣料品の競技後のチェックが行われます (6.7.9)。



## 7.5.2 衣類の測定基準

### 7.5.2.1 被服厚さ基準表

ライフル競技の衣類は、次の厚さ測定基準に準拠する必要があります。

| 測定位置 | 厚さ ジャケット | ズボン    | 靴      |       | 手袋     | 下切る   |
|------|----------|--------|--------|-------|--------|-------|
| 普通   | 独身       | 2.5mm  | 2.5mm  | 4.0mm |        | 2.5mm |
| 普通   | ダブル      | 5.0mm  | 5.0mm  |       |        | 5.0mm |
| 普通   | 合計       |        |        |       | 12.0mm |       |
| 援軍   | 独身       | 10.0mm | 10.0mm |       |        |       |
| 援軍   | ダブル      | 20.0mm | 20.0mm |       |        |       |

チャートの厚さ測定基準を超える測定は認められません (ゼロ トランス)。

### 7.5.2.2 剛性測定基準

ライフル競技用の衣類は、次の剛性測定基準に準拠する必要があります。

- a) メスシリンダーが少なくとも3.0mm 押し下げられている場合、材料は許容できる;
- b) 3.0mm 未満の測定値が表示された場合、材料が硬すぎます。最小測定値の3.0mm を下回る測定値は認められません。
- c) ジャケットまたはズボンのすべての部分が 60mm メスシリンダーで測定できなければならない。パーツが通常のテストには小さすぎる場合 (60mm 以上の平坦な領域がない場合)、測定は縫い目の上で行う必要があります。

### 7.5.2.3 靴底柔軟性基準

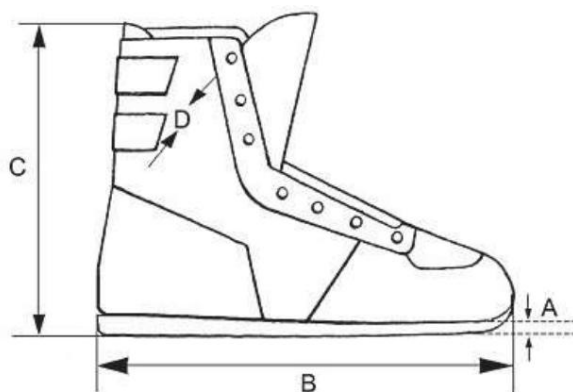
競技者の靴の靴底は、ブーツまたは靴が試験装置に固定されている間、かかと部分に 15 ニュートンメートルの力が加えられたときに、少なくとも 22.5 度曲がらなければなりません (規則 6.5.3 を参照)。

## 7.5.3 シューティングシューズ

すべてのポジションで、通常のストリート タイプまたは軽量の運動靴が許可されます。次の仕様を超えない特別なシューティングシューズは、10m、50m、および 300m の 3 ポジション イベントでのみ着用できます。Rifle Prone イベントでは、特別なシューティングシューズを着用してはなりません。



- 7.5.3.1 アッパー部分 (ソールのラインより上) の素材は、柔らかく、柔軟で、柔軟な素材でなければならず、すべての裏地を含めて、シューティングシューズの寸法表の点 D などの平らな面で測定した場合、厚さは 4 mm を超えてはなりません( 7.5.3.6)。
- 7.5.3.2 靴底は、その長さと同幅全体で同じ材料と組成で構成されなければならず、靴底は足の前部全体で柔軟でなければなりません。アスリートは、取り外し可能なインナーソールまたはインサートを靴に使用することができますが、インサートは足の前部にも柔軟性がなければなりません。
- 7.5.3.3 足裏が柔軟であることを実証するために、アスリートはFOP を履いている間、常に普通に (かかとからつま先まで) 歩かなければなりません。最初の違反には警告が与えられ、その後の違反には 2 点のペナルティと失格が与えられます。
- 7.5.3.4 床から最高点までの靴の高さ (寸法 C、射撃靴測定表) は、長さの 3 分の 2 (2/3) を超えてはなりません。
- 7.5.3.5 アスリートが靴を履く場合、それらは外部的に一致する必要があります。
- 7.5.3.6 シューティングシューズの寸法表  
選手の靴は、図とチャートに示されている最大寸法を超えてはなりません:



A. つま先のソールの最大厚さ: 10mm。

B. 靴の全長 着用者の足のサイズによる。

C. 靴の最大高さ: 靴の長さの 3 分の 2 (2/3) を超えないこと

B.

D. シューズ素材のアッパー部分の最大厚さ 4mm。

靴底は、靴の外側の曲率に沿う必要があり、どの点においても靴の外形寸法から 5.0 mm 以上はみ出してはなりません。つま先またはかかととは、四角または平らにカットすることはできません。



## 7.5.4 シューティングジャケット

- 7.5.4.1 ジャケットの身頃と袖は、裏地を含めて、平らな面を測定できる任意の点で、片厚が 2.5mm、二重厚が 5.0mm を超えてはなりません。ジャケットは、ボールド フィストの底より長くしてはならない（シューティング ジャケットの寸法、7.5.4.9 を参照）。
- 7.5.4.2 ジャケットの閉鎖は、ボタンやジッパーなどの調整不可能な手段によつてのみ行う必要があります。ジャケットは、クローザーで 100mm 以上オーバーラップしてはなりません（ジャケット表を参照）。ジャケットは着用者にゆるくぶら下がっている必要があります。これを判断するには、ボタンの中心からボタンホールの外縁までを測定して、ジャケットが通常の留め具より少なくとも 70mm オーバーラップできる必要があります。測定は、腕を両脇に置いて測定されます。測定
- 6.0kg~8.0kgの張力のオーバーラップゲージで作成する必要があります。ボタンホールの周囲は最大 12mm に制限されており、この領域は許可された2.5mm の厚さを超える場合があります。
- 7.5.4.3 ストラップ、レース、ピンディング、縫い目、縫い目、または人工的なサポートと解釈される可能性のあるデバイスはすべて禁止されています。ただし、ショルダー パッドの領域でゆるい素材を取り上げるために、1 つのジッパーまたは 2 つを超えないストラップを使用することは許可されています（シューティング ジャケットの寸法、7.5.4.9 を参照）。これらの規則と図で指定されたもの以外の他のジッパーまたはその他の閉鎖または締め付け装置は許可されていません。
- 7.5.4.4 バックパネルの構造は、この構造がジャケットの柔軟性を硬くしたり低下させたりしない限り、複数の材料を含んでいてもよい。背面パネルのすべての部品は、厚さが最大2.5mm、剛性が最小 3.0mm に準拠する必要があります。
- 7.5.4.5 サイド パネルの構造では、肘の先端から 70 mm 上、肘の先端から 20 mm 下に広がる縫い目のないゾーン内で、立った姿勢でサポート アームの肘の下に縫い目を配置することはできません。
- これは、アスリートがジャケットを完全に閉じて、ライフルを立った状態で保持した状態で確認する必要があります。
- 7.5.4.6 アスリートは、ボタン付きジャケットを着用した状態で、両腕を完全に伸ばせる（袖をまっすぐにする）ことができなければなりません。腹臥位および跪位では、シューティング ジャケットの袖は、スリングが取り付けられている腕の手首を超えて伸びてはなりません。アスリートが射撃姿勢にあるとき、スリーブは手またはグローブとストックの先端の間に置いてはならない。
- 7.5.4.7 ベルクロ、粘着性物質、液体、またはスプレーを、ジャケット、パッド、靴、および/または床または機器の外側または内側に適用してはなりません。ジャケットの素材を粗くすることは許可されています。違反はルールに従って罰せられます。



7.5.4.8

シューティング ジャケットには、次の制限を条件として、外側の表面にのみ補強パッチを追加することができます。

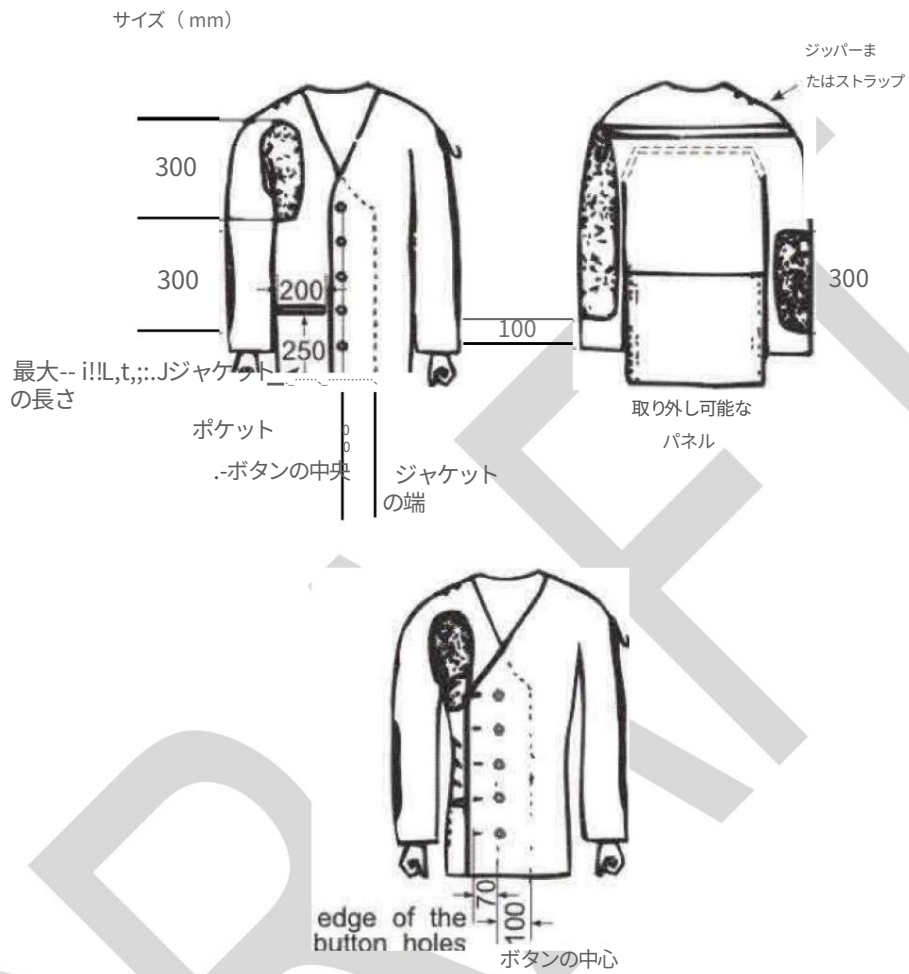
- a) ジャケット素材とすべての裏地を含む最大厚さ: 片厚 10mm、または二重厚として測定した場合は 20mm。
- b) 両肘に補強を追加してもよいが、袖の円周の半分 (1/2) を超えて伸びてはならない。スリングを保持する腕では、補強材は上腕から袖の端から 100 mm の点まで伸びていてもよい。反対側のアームの補強材の長さは最大 300mm です。
- c) スリングが滑るのを防ぐために、スリングアームの袖または肩の縫い目の外側に 1 つのフック、ループ、ボタンまたは同様の装置を留めることができる。
- d) バットプレートが置かれる肩の補強材は長くしてはならない。最長寸法が 300mm を超えている (規則 7.5.4.9 を参照)。
- e) すべての内ポケットは禁止されています。
- f) ジャケットの右前側 (左利きの選手の場合は左前側) にある 1 つの外部ポケットが許可されます。ポケットの最大サイズは、ジャケットの下端から高さ 250mm、幅 200mm です。





### 7.5.4.9 シューティングジャケットの採寸

シューティング ジャケットは、図面に示されている仕様に準拠する必要があります。



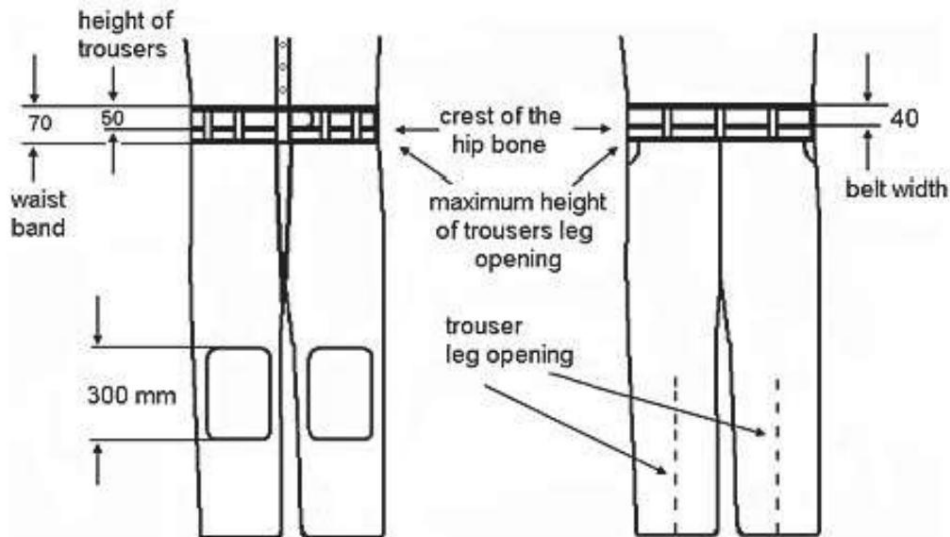


## 7.5.5 シューティングパンツ

- 7.5.5.1 ズボンは、裏地を含めて、平らな表面を測定できる任意の点で、片厚が 2.5mm、二重厚が 5mm を超えてはなりません。
- ズボンの上部は、腰骨の頂上から 50mm よりも高い位置に収まったり、着用したりしてはなりません。すべてのポケットは禁止されています。ズボンを脚や腰の周りで締めるためのすべての引きひも、ジッパー、ファスナーは禁止されています。ズボンをサポートするために、幅 40mm 厚さ 3mm を超えない通常のウエストベルトまたはブレース (サスペンダー) のみを着用することができます。立った状態でベルトを着用する場合、バックルまたは留め具を使用して左腕または肘を支えてはなりません。ベルトは、左腕または肘の下で 2 重、3 重などにしてはなりません。ズボンにウエストバンドが付いている場合、幅が 70mm を超えてはなりません。ウエストバンドの厚さが 2.5mm を超える場合、ウエストベルトは許可されません。ウエストベルトを着用しない場合、ウエストバンドの絶対最大厚さは 3.5mm です。ベルト ループは最大 7 つまで使用でき、幅は 20mm 以下で、ベルト ループ間の間隔は少なくとも 80mm です。ズボンは、1 つのホックと最大 5 つのアイ、または最大 5 つの調節可能なスナップ ファスナー、または類似の留め具またはベルクロ (多層であってはならない) で閉じることができます。1 種類の閉鎖のみが許可されます。他のクロージャーと組み合わせたベルクロ クロージャーは禁止されています。ズボンは脚の周りがゆったりしていなければなりません。特別な射撃ズボンを着用しない場合は、体のどの部分も人工的に支えない限り、通常のズボンを着用することができます。
- 7.5.5.2 ジッパー、ボタン、ベルクロ、または同様の調整不可能な留め具または留め具は、ズボンの次の場所でのみ使用できます。
- ズボンの前立てを開閉するための前面の 1 種類の留め具または留め具。  
フライは股の高さより低くしてはいけません。
  - ふさがれない穴は許可される。
  - 各ズボンの脚には、他の留め具を 1 つだけ使用できます。開口部 (留め具) は、ズボンの上端から 70 mm 以内から始めてはなりません。  
ただし、ズボンの脚の底まで伸ばすことができます (ジャケットとズボンの表を参照)。1 つの留め具は、脚上部の前部または脚の後部のいずれかで許可されますが、1 つの脚で両方の場所に使用することはできません。
- 7.5.5.3 ズボンの両膝に補強材を追加することができます。膝の補強材は最大 300mm の長さで、ズボンの脚の周囲の半分よりも広くてはなりません。ズボンの素材と裏地を含む補強材の厚さは、片厚で 10mm (二重厚さで 20mm) を超えてはなりません。
- 7.5.5.4 シューティング パンツは、ライフル伏射種目では着用してはいませんが、ライフル 3 姿勢種目の伏射ステージでは着用できます。

## 7.5.5.5 ズボンの測定を撮影

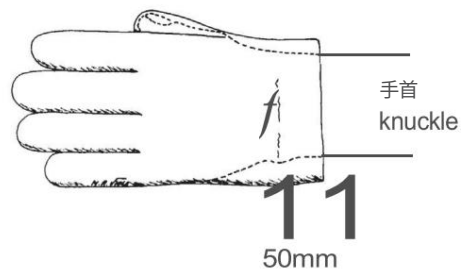
射撃ズボンは、図面に示されている仕様に準拠する必要があります。



## 7.5.6 シューティンググローブ

7.5.6.1 縫い目と継ぎ目以外の場所で表と裏の素材を一緒に測定する場合、合計の厚さは 12 mm を超えてはなりません。アスリートが裏地の手袋も着用している場合、これは厚さの測定に含める必要があります。

7.5.6.2 グローブは、手首のナックルの中心から測定して、手首から 50mm 以上はみ出してはなりません (図を参照)。手首のストラップやその他の閉鎖装置は禁止されています。ただし、手首の一部は、手袋を着用できるように伸縮性がありますが、手首の周りで手袋を緩めたままにしておく必要があります。



## 7.5.7 下着

7.5.7.1 シューティング ジャケットの下に着用する衣服は、片厚 2.5 mm または二重厚 5 mm を超えてはなりません。ズボンの下に着用するすべての衣服についても同様です。射撃ズボンの下にジーンズやその他の普通のズボンを着用することはできません。

- 7.5.7.2 シューティング ジャケットおよび/またはズボンの下に着用できるのは、アスリートの脚、体、または腕の動きを固定したり、過度に制限したりしない、通常の個人用下着および/またはトレーニング ウェアのみです。それ以外の下着は禁止です。
- 7.5.8 機器と付属品
- 7.5.8.1 スポットティング望遠鏡
- ショットの位置を特定し、風を判断するために、ライフルに取り付けられていない望遠鏡を使用することは、50m および 300m のイベントでのみ許可されます。
- 7.5.8.2 スリング
- スリングの最大幅は40mm。スリングは左腕の上部にのみ装着し、そこからライフルストックの前端に接続する必要があります。スリングは、ライフルの前端に一点でのみ取り付けることができます。スリングは、手または手首の片側だけを通さなければなりません。スリングが腕と前方アタッチメントの間にループを形成するように着用されている場合、両方の半分を一緒に固定するか、スリングが手または手首の周りを通る幅が 40mm を超えないように取り付けなければならない。ライフルのどの部分も、スリングのスイベルとハンドストップを除いて、スリングまたはその付属品に触れてはなりません。
- 7.5.8.3 ライフルレスト
- 射撃の合間にライフルを休ませるためにライフルレストを使用することは、ライフルを立った射撃姿勢で保持しているときに、スタンドのどの部分も選手の肩よりも高くないことを条件として許可されます。射撃台や立位のベンチの前に、ライフルを載せるためのスタンドを置いてはならない。ライフルを休ませている間、どちらの側のアスリートにも干渉しないように注意する必要があります。ライフルをライフルレストに置いている間は、安全のため、アスリートがライフルを保持する必要があります。
- 7.5.8.4 シューティングボックスまたはバッグ
- シューティングボックスまたはバッグは、射線上でアスリートの前肩の前に置いてはならない。シューティングボックスまたはバッグ、テーブルまたはスタンドは、隣接するポイントの選手の妨げになるようなサイズまたは構造のものであってはならず、防風林を構成するものであってはなりません。
- 7.5.8.5 ニーリングロール
- ひざまずいた位置での射撃では、円筒形のロールは 1 つだけ許可されます。寸法は最大で長さ25cm、直径 18cmです。柔らかく柔軟な素材で作られている必要があります。ロールを成形するためのバインディングまたはその他のデバイスは許可されていません。
- 7.5.8.6 バイポッド
- 二足歩行は、射撃の前後または位置変更中にライフルを支えるために使用できますが、二足歩行は、固定されているか折りたたまれているかに関係なく、ライフルから取り外されなければなりません。

すべてのMATCH発砲時間中のライフル。

DRAFT

7.5.8.7 ニーリングヒールパッド

最大寸法が 20cm x 20cm の柔軟で圧縮可能な素材の別のピースを、ひざまずいた姿勢でかかとに配置することができます。ひざまずくヒールパッドは、ライフルの服の厚さを測定するために使用される測定装置で圧縮された場合、20mm を超えない場合があります。

7.5.8.8 バイザーまたはキャップ

キャップまたはバイザーを着用することができます。キャップまたはバイザーは、選手の額の前方に 80mm を超えて伸びてはならない。柔軟な素材で作られたキャップやバイザーがリアサイトに触れる場合があります。

柔軟性がなく、硬い/硬い素材で作られたキャップまたはバイザーは、リアサイトに触れることはできません。いかなる種類のキャップやバイザーも、横目隠しになるような方法で着用してはならず、陪審員は、横から観察したときにアスリートの目を確認できなければなりません。



## 7.6 撮影イベントの手順と競技規則

### 7.6.1 射撃位置

#### 7.6.1.1 ひざまずく

- a) 選手は右足のつま先で射点面に触れてもよい。  
右膝と左足。
- b) ライフルは両手と右肩で持つことができる。
- c) 頬は銃床に当ててもよい。
- d) 左肘は左膝で支えなければならない。
- e) エルボーのポイントは、100mm オーバーまたは 150mm オーバーしてはならない  
膝のポイント；
- f) ライフルはスリングで支えてもよいが、左手の後ろの前端がシューティング ジャケットに触れてはならない。
- g) ライフルのどの部分もスリングまたはその付属品に触れてはならない。
- h) ライフルは、他の点や物体に触れたり、支えたりしてはなりません。
- i) ニーリング ロールが右足または足首の下に配置されている場合、足を下に向けてはなりません。  
45度以上の角度で回転した；
- j) ニーリング ロールを使用しない場合、足は任意の角度に置くことができます。これには、足の側面と下肢を射点または射撃マットの表面に接触させることが含まれる場合があります。
- k) 脚の上部または臀部のいかなる部分も射点の表面に触れてはならない  
または任意の時点でマットを撮影します。
- l) 選手がシューティング マットを使用する場合、最大 3 つの接触点 (つま先、膝、足) ができるように、完全にまたは部分的にマットの上にひざまずくことができます。  
右膝の下に他の物や詰め物を置くことはできません。必要に応じて、マットと一緒にニーリング ロールを使用することもできます。
- m) 最大厚さ 20mm のひざまずくヒールパッドを使用することを除いて、選手のシートとヒールの上にズボンと下着のみを着用することができる。この 2 点の間にジャケットやその他の物品を置かないでください。  
いと
- n) 右手は、左手、左腕、またはシューティング ジャケットまたはスリングの左側に触れてはなりません。

7.6.1.2

腹臥位

を。選手は射点のむき出しの表面または射撃台に横たわってもよい。

一緒に;

b. また、マットの上に肘を置いて使用することもできます。

c. 体は、頭をターゲットに向けて発射点で伸ばす必要があります。

d. ライフルは両手と片方の肩だけで支えることができます。

e. ほおはライフルストックに当ててもよい。

f. ライフルはスリングで支えてもよいが、左手の後ろの前端がシューティング ジャケットに触れてはならない。

g. ライフルのどの部分もスリングまたはそのアタッチメントに触れてはなりません。

h. ライフルは、他のポイントまたはオブジェクトに触れたり、寄りかかたりしてはなりません。

私。シューティング ジャケットの前腕と袖の両方が、肘の前にある必要があります。

発火点の表面から目に見えて盛り上がっている。

j. アスリートのスリング (左) 前腕は 30 度以上の角度を形成する必要があります  
水平から、前腕の軸から測定。

k. 右手および/または腕は、左腕、シューティング ジャケットまたはスリングに触れてはなりません。  
と

l. Rifle Prone イベントではシューティング パンツを着用してはなりません。

### 7.6.1.3

立っている

を。アスリートは、人為的またはその他のサポートなしで、自由に立っていなければなりません。  
射撃点の表面または射撃マットの足。

b.ライフルは両手と肩または肩の近くの上腕と右肩のすぐ隣の胸の部分で持つことができます。

c.頬はライフルの銃床に当てることができます。

d.ライフルは、右側の領域を超えてジャケットまたは胸に触れてはなりません  
ショルダー;

e.左上腕と肘は、胸または腰で支えることができます。ベルトを着用している場合、バックルまたは留め具を  
左腕または肘を支えるために使用してはなりません。

f.ライフルのどの部分も、7.6.1.3 b) で許可されている領域を除いて、いかなる点や物体にも触れたり、静止し  
たりしてはなりません。ライフルと選手の衣服の他の部分、選手の顔とブラインドを含むリアサイト、および  
両手の間には、はっきりと見える隙間がなければならない。

このギャップの幅は、競技者が発砲中に物理的な測定を行うオフィシャルまたはジュリーメンバーによっ  
て邪魔されるのを避けるために意図的に指定されていませんが、ギャップは、ライフルがどのポイントまた  
はオブジェクトにも触れていないことに疑いの余地がないようなものでなければなりません。見た。

g.パームレストは使用できますが、300m 標準ライフルまたは 10m エアライフルでは使用できません。  
イベント;

h. 300m スタンダード ライフルと 10m エア ライフルでは、この位置でハンド ストップ/スリング スイベルを使用するこ  
とはできません。

<sup>44.</sup> この位置では、スリングの使用は禁止されています。右手は、左手、左腕、またはシューティング ジャケ  
ットの左側に触れてはなりません。

## 7.7

ライフルイベント

213 ~ 215 ページの ISSF 公認の射撃種目および規則 7.7.4、ライフル種目表を参照してください。

### 7.7.1

50m および 300m の 3 姿勢種目は、ひざまずく - 伏せ - 立位の順に発射しなければならない。

### 7.7.2

MATCH 射撃が始まる前に、合わせて 15 分間の準備時間と試射時間を提供する必要があります (規則  
6.11.1.1)。

## 7.7.3

3 姿勢種目では、アスリートが膝立ちと腹臥位を完了した後、MATCH から Sighting に変更し、MATCH に戻るのはアスリートの責任です。アスリートは、MATCH 射撃を開始する前に、腹臥位および立位で射撃を無制限に行うことができます。これらの照準ショットに追加の時間は許可されません。選手が不注意にポジションを変更した後、MATCH から Sighting に切り替えられなかった場合、前のポジションで余分なショットとして記録されたすべてのショットを無効にし、ターゲットを Sighting にリセットする必要があります。

## 7.7.4 ライフル種目予選表

| イベント                         | 男性/<br>女性   | 撮影枚数 | の<br>数<br>ショットあたり<br>マッチ<br>対象 (紙) | の<br>数<br>目撃<br>ターゲット<br>(紙) | 時間：<br>ピット オペレー<br>ションまたはター<br>ゲット キャリア<br><br>(紙タール<br>取得時) | 時間：<br>電子<br>ターゲット |
|------------------------------|-------------|------|------------------------------------|------------------------------|--|--------------------|
| 午前10時 エア<br>ライフル             | 男性または<br>女性 | 60   | 1                                  | 4                            | 1時間30分   | 1時間15分             |
| 10m 混合<br>チーム                | メンズ&<br>女性  | 2x40 | 1                                  | 4                            | 1時間  | 50分                |
| 50mライフル<br>3ポジション            | 男性または<br>女性 | 60   |                                    | 各位置に 4 つ                     | 時間、  | 1時間30分             |
| 50mライフル<br>腹臥位               | 男性または<br>女性 | 60   |                                    | 4                            | 1時間  | 50分                |
| 300mライフル<br>3ポジション           | 男性または<br>女性 | 60   | 10                                 | 各位置に 1 つ                     | 2時間15分   | 1時間45分             |
| 300mライフル<br>腹臥位              | 男性または<br>女性 | 60   | 10                                 | 1                            | 1時間15分   | 50分                |
| 300m<br>標準<br>ライフル3<br>ポジション | 男性          | 60   | 10                                 | 各位置に 1 つ                     | 2時間15分   | 1時間45分             |

注: 15 分間の準備時間と観察時間の合計は、イベントの公表された開始時間よりも前に開始する必要があります。

私

## ライフル仕様表

| イベント                         | 最大重量              | 引き金                                   | 最大<br>バレル/システムの<br>長さ | 弾薬 サムホール、サム<br>レスト、パームレスト、<br>ヒールレスト、水<br>準器         |
|------------------------------|-------------------|---------------------------------------|-----------------------|--|
| 10mエアライフル                    | 5.5kg (男子・<br>女子) | セットトリガーなし                             | 850mm (シス<br>テム)      | 4.5mm<br>(.177")<br><br>いいえ                          |
| 50mライフル3<br>ポジションと<br>腹臥位    | 8.0kg (男性・女<br>性) | 制限なし 制限なし                             | 5.6mm                 | (.22") ロングラ<br>イフル<br><br>はい - パーム レストは立<br>っているだけです |
| 300mライフル3<br>ポジションと<br>腹臥位   | 8.0kg (男性・女<br>性) | 制限なし 制限なし                             | 最大                    | 8mm<br><br>はい - パーム レストは立<br>っているだけです                |
| 300m<br>標準<br>ライフル3<br>ポジション | 5.5kg (男性)        | トリガーが設定されていません<br>最小トリガ<br>ープル: 1500g | 762mm<br>(バレル)        | 最大8mm<br><br>いいえ                                     |

注:ライフルは、パーム レストまたはハンド ストップ (使用する場合) を含むすべてのアクセサリと一緒に重量を量る必要があります。

|  |                   |
|--|-------------------|
| 10mエアライフル                              | 7.4.2 / 7.4.4     |
| 3 ポジション - ポジションの後にターゲットを変更する           | 7.7.3             |
| 3 体位 - 準備と観察時間の組み合わせ                   | 7.7.2             |
| 3ポジション - 射撃順                           | 7.7.1             |
| 300mライフル                               | 7.4.5.4           |
| 300mスタンダードライフル                         | 7.4.2   7.4.3     |
| 50mライフル                                | 7.4.5             |
| アクセサリと機器                               | 7.5.8             |
| 左を狙う - 右を狙う / 右を狙う - 左を狙う              | 7.4.1.6e          |
| 弾薬                                     | 7.4.6             |
| すべてのライフル種目に適用されるルール                    | 7.1.1             |
| バレル - 長さ - 300m 標準ライフル                 | 7.4.3 C           |
| バレル                                    | 7.4.1.5           |
| バイポッド                                  | 7.5.8.6           |
| ブラインダー - リアサイト                         | 7.4.1.6e          |
| バットプレート - 50mライフル                      | 7.4.5.1           |
| バットプレート - 300m 標準ライフル/10m エアライフルのオフセット | 7.4.2.1           |
| キャップまたはバイザー                            | 7.5.8.8           |
| 無効にした後にライフルを変更する                       | 7.4.1.2           |
| イベントごとのライフルの変更または複数のパーツ                | 7.4.1.2           |
| 撮影服の特徴                                 | 7.5.1.3 / 7.5.1.4 |
| 競技会/予選後のチェック (規則6.7.9)                 | 7.5.1.5           |
| 服装規定                                   | 7.5               |
| ジャケットとズボンの下の衣類                         | 7.5.7             |
| 衣類の測定基準                                | 7.5.2             |
| 衣類の硬さ測定基準                              | 7.5.2.2           |
| 被服厚さ基準表                                | 7.5.2.1           |
| 補償器                                    | 7.4.1.5           |
| 矯正レンズ                                  | 7.4.1.6c          |
| バレル/チューブ内のデバイス                         | 7.4.1.5           |
| 無効化されたライフル                             | 7.4.1.2           |
| 電子トリガー                                 | 7.4.1.7           |
| 機器と付属品                                 | 7.5.8             |
| ジェネラルライフル                              | 7.1               |
| ハンドヒールレスト - 300m 標準ライフル / 10m エアライフル   | 7.4.2.2           |



|   |                   |
|---|-------------------|
| フック - 50m ライフル                              | 7.4.5.1           |
| 増加したグリップ素材 - 300m 標準ライフル / 10m エアライフル       | 7.4.2.6           |
| ひざまずく                                       | 7.6.1.1           |
| ニーリングヒールパッド                                 | 7.5.8.7           |
| ニーリングロール                                    | 7.5.8.5           |
| ルールの知識                                      | 7.1.2             |
| 左利きのアスリート - 右利きのアスリート                       | 7.1.3             |
| バレルの長さ - 300m 標準ライフル                        | 7.4.3 C           |
| ライフルシステムの長さ - 10mエアライフル                     | 7.4.4a            |
| レンズ   | 7.4.1.6           |
| ライトフィルター                                    | 7.4.1.6           |
| シューティングジャケット、シューティングトラウザー、シューティンググローブの素材    | 7.5.1.1           |
| メンズイベント/ウィメンズイベント                           | 7.1.4             |
| ミラージュバンド - 300mライフル                         | 7.4.5.4           |
| 動きまたは振動低減システム                               | 7.4.1.3           |
| マズルブレーキ                                     | 7.4.1.5           |
| シューティングジャケットとシューティングトラウザーの数                 | 7.5.1.2           |
| イベントごとに1つのライフル                              | 7.4.1.2           |
| パームレスト - 300m 標準ライフル/10m エアライフル             | 7.4.2.2           |
| パームレスト - 50mライフル                            | 7.4.5.2           |
| バレル・チューブの穿孔                                 | 7.4.1.5           |
| ピストル グリップ エクステンション - 300m 標準ライフル/10m エアライフル | 7.4.2.3           |
| ピストルグリップ                                    | 7.4.1.4           |
| ピストル グリップ - 50m ライフル                        | 7.4.5.3           |
| ポジション                                       | 7.6.1             |
| 競技会後の検査 (規則6.7.9)                           | 7.5.1.2   7.5.1.5 |
| 準備および試射時間 (規則6.11.1.1)                      | 7.7.2             |
| 番組順   | 7.7.1             |
| 腹臥位   | 7.6.1.2           |
| 範囲と対象基準                                     | 7.3               |
| 増援 - シューティング ジャケット                          | 7.5.4.8           |
| 増援 - 射撃ズボン                                  | 7.5.5.3           |
| 補強材 - 衣類の厚さの表                               | 7.5.2.1           |
| レスト - ライフルレスト                               | 7.5.8.3           |
| ライフル種目 - ライフル種目の資格表7.7.4を参照してください。          | 7.7               |
| ライフルの測定 - 10m エアライフル                        | 7.4.4             |
| ライフル測定表 - 300m 標準ライフル/10m エアライフル            | 7.4.4.2           |
| ライフル仕様表                                     | 7.7.5             |

|                                      |            |
|--------------------------------------|------------|
| ライフルと弾薬                              | 7.4        |
| 右利きの選手 - 左利きの選手の安全射撃ボックスI            | 7.1.3      |
| 射撃バ                                  | 7.2        |
| ツグ 射撃イベントの手順と競技                      | 7.5.8.4    |
| 規則 射撃用手袋 射撃用手袋 - 閉鎖 射撃用手袋 - 厚みのあ     | 7.6        |
| る射撃用ジャケット                            | 7.5.6      |
| ストラップ、レース、ステッチな                      | 7.5.6.2    |
| ど                                    | 7.5.6.1    |
|                                      | 7.5.4      |
|                                      | 7.5.4.3    |
| シューティング ジャケット - 身頃、袖、長さ シューティング      | 7.5.4.1    |
| ジャケット - 両腕は袖をまっすぐに伸ばします シューティング ジャケ  | 7.5.4.6    |
| ット - 閉鎖 :調整不可 シューティング ジャケット - バックパ   | 7.5.4.2    |
| ネルの構造 シューティング ジャケット - 図面と寸法 シューティングジ | 7.5.4.4    |
| ャケット - スリングの留め方肩の面積                  | 7.5.4.9    |
|                                      | 7.5.4.8 C  |
|                                      | 7.5.4.3    |
| シューティング ジャケット - オーバーラップ、ルーズ ハング      | 7.5.4.2    |
| シューティング ジャケット - ポケット                 | 7.5.4.8 f  |
| シューティング ジャケット - 袖の位置                 | 7.5.4.6    |
| シューティング ジャケット - 援軍                   | 7.5.4.8    |
| シューティング ジャケット - 補強:肩のバット プレート レスト    | 7.5.4.8日   |
| シューティング ジャケット - 補強材:肘                | 7.5.4.8b _ |
| シューティング ジャケット - 補強材:最大厚さ             | 7.5.4.8a _ |
| シューティング ジャケット - ラフニング                | 7.5.4.7    |
| シューティング ジャケット - 横方向の縫い目のあるサイド パネル    | 7.5.4.5    |
| シューティング ジャケット - ポケットのサイズ             | 7.5.4.8 f  |
| シューティング ジャケット - 袖をまっすぐにする            | 7.5.4.6    |
| シューティング ジャケット - 粘着性物質、液体などの使用...     | 7.5.4.7    |
| 左に向ける - 右に向ける/ 右に向ける - 左に向ける         | 7.4.1.6e   |
| 射撃位置                                 | 7.6.1      |
| シューティングシューズ                          | 7.5.3      |
| シューティング シューズ - 靴底の柔軟性                | 7.5.2.3    |
| シューティングシューズ - 身長                     | 7.5.3.4    |
| シューティングシューズ - インナーソール                | 7.5.3.2    |
| シューティングシューズ - マッチングペア                | 7.5.3.5    |
| シューティング シューズ - マテリアル ソール             | 7.5.3.2    |
| シューティング シューズ - 素材の上部                 | 7.5.3.1    |

|  |                   |
|--|-------------------|
| シューティングシューズ - 測定表                        | 7.5.3.6           |
| シューティングシューズ - ウォーキングテスト                  | 7.5.3.3           |
| シューティングパンツ                               | 7.5.5             |
| 射撃ズボン - プレース (サスペンダー)                    | 7.5.5.1           |
| 射撃ズボン - 閉鎖装置                             | 7.5.5.1           |
| シューティング トラウザーズ - クロージャー デバイス: トラウザーズ フライ | 7.5.5.2           |
| 射撃ズボン - 閉鎖装置:ズボンの脚                       | 7.5.5.2 C         |
| シューティングパンツ - 描画と測定                       | 7.5.5.5           |
| シューティングパンツ - ドローストリング、ジッパー、ファスナー         | 7.5.5.1   7.5.5.2 |
| シューティング トラウザーズ - ゆったりとした足回り              | 7.5.5.1           |
| 射撃ズボン - 補強                               | 7.5.5.3           |
| 射撃ズボン - 厚さ                               | 7.5.5.1           |
| 射撃ズボン - ズボンの上                            | 7.5.5.1           |
| シューティング パンツ - ウエスト バンド:幅広、クロージャー デバイス    | 7.5.5.1           |
| シューティングパンツ - ウエストベルト                     | 7.5.5.1           |
| ショーツ                                     | 7.5.1.3           |
| 観光スポット                                   | 7.4.1.6           |
| サイト - レンズ、レンズ システム、ライト フィルター             | 7.4.1.6           |
| スリング                                     | 7.5.8.2           |
| 仕様表-ライフル                                 | 7.7.5             |
| 水準器 - 300m 標準ライフル/10m エアライフル             | 7.4.2.2           |
| スポッティング望遠鏡                               | 7.5.8.1           |
| 300m標準ライフル/10mエアライフルの規格                  | 7.4.2             |
| すべてのライフルの基準                              | 7.4.1             |
| 立っている                                    | 7.6.1.3           |
| 衣類の硬さ                                    | 7.5.2.2           |
| 望遠鏡                                      | 7.5.8.1           |
| 衣類の厚さ                                    | 7.5.2.1           |
| 厚さ - テーブル                                | 7.5.2.1           |
| サムホール - 300m 標準ライフル / 10m エアライフル         | 7.4.2.2           |
| サムレスト - 300m 標準ライフル / 10m エアライフル         | 7.4.2.2           |
| トリガーブル - 300m スタンダードライフル                 | 7.4.3a_           |
| 下着                                       | 7.5.7             |
| バイザーまたはキャップ                              | 7.5.8.8           |
| 普通に歩く                                    | 7.5.3.3           |
| ウェイト - 300m 標準ライフル / 10m エアライフル          | 7.4.2.7           |
| ウィメンズイベント/メンズイベント                        | 7.1.4             |